



新年のごあいさつ

久留米市社会福祉協議会
会長 中島 年隆



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきましては、ご理解とご支援に感謝申し上げます。

さて、近年の地域福祉を取り巻く状況は、長引くコロナ禍の影響により、孤独や孤立、引きこもりや虐待、貧困、さらに地域

における支え合いの希薄化など様々な課題が顕在化しています。また経済状況は、収入の減少などに加え、記録的な円安による物価高騰が家計を直撃する中、日常生活において困難な状況にある世帯の増加は深刻な社会問題となつております。

このような中、本会では、本人や世帯の複合化・複雑化した地域生活課題に対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の取組みを行政と連携して進めているところです。またコロナ禍以降、市内の農家、事業所、JA等との連携を深め、食材やお米、農産物などの寄付を広く求め、

ご寄付いただいた食品を市内のフードバンクやフードドライブ、子ども食堂などへの支援活動を展開している団体に提供する取り組みも進めてきております。今後もこのような支援活動の充実を図るとともに、生活にお困りの世帯からの相談にも寄り添った対応を心がけ、課題解決への支援を行ってまいります。

さらに、すべての人が住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう「人と人」、「人と社会」がつながり、一人ひとりが役割や生きがいをもつて、互いに助け合いながら暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた様々な取組みを行政や関係団体、そして住民の皆さまと連携しながら引き続き進めてまいります。

本年もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第50回久留米市社会福祉大会

●記念講演●

「子どもの貧困と地域共生社会」

講師

久留米大学 文学部 社会福祉学科
教授 上原 紀美子氏

第50回久留米市社会福祉大会の記念講演では、上原教授を講師に迎え「子どもの貧困と地域共生社会」と題して講演をいただきました。

近年、社会問題として取り上げられる子どもの貧困について、調査データに基づき、貧困率や教育格差の問題、貧困の世代間連鎖等について詳しくお話いただきました。

「経済的な事情、家族の問題等に直面する子どもたちの『今』をほんの少しだけでも変えること、それがその子どもの未来を変えることになるかもしれない。これからの社会のあり方を考えていくうえで、私たち大人の責任は非常



記念講演の様子